



【図1 外観】



【図2 室内】



【図3 案内表示器】



1. 車内快適性の向上

- ・冷房能力を向上させました。(表1)
- ・一人座席幅を460mmに拡大しました。また、7人がけ座席に手すりを2本設置しました。(図2)

2. 使い易さの向上

- ・床面高さを10mm低くし、ホームとの段差を縮小しました。(表1)
- ・両車端部の荷棚の高さを低くし、手荷物の上げ下げを容易にしました。また、優先席部の吊手も低く設置し握りやすくしました。(図2)(表1)
- ・液晶画面表示器を採用、従来よりも見易くきめ細かな、乗り換え案内・駅設備案内、所要時間等の案内情報を提供します。(図3)

3. 環境負荷低減

- ・車体の構体に使用している柱・梁・板・桁等のアルミ合金の種類を統一してリサイクル性を向上させました。

4. 火災対策の強化

- ・火災発生時に有毒ガスを発生する材料や高温で溶け落ちる材料は使用しないなど、火災対策を強化しました。(表1)

5. 車体強度向上

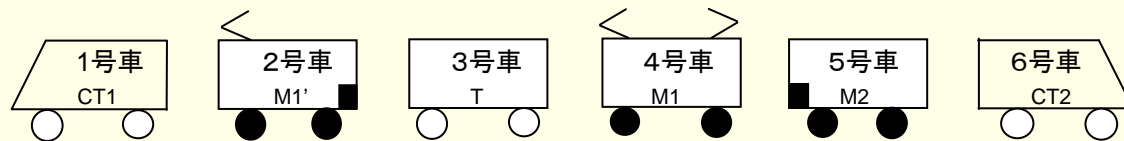
- ・セミダブルスキン構体や車体隅柱強化及び溶接位置変更により、衝突安全性を向上させました。

【表1 各種比較】

9000系(従来車)	比較項目	9000系(新車)
48.8kW(42000kcal/h)	冷房能力	58.0kW(50000kcal/h)
450mm	座席幅	460mm
1150mm	床面高さ	1140mm
1800mm	両車端部の荷棚の高さ	1700mm
1660mm	優先席部の吊手高さ	1580mm
床材:塩化ビニル 吊革:塩化ビニル 冷房吹出口:FRP 座席表地:ポリエステル	火災対策	床材:ゴム 吊革:ナイロン 冷房吹出口:アルミ 座席表地:ポリエステル+アラミド繊維

編成形態(6両 3M3T)

←赤羽岩淵方面



目黒方面→

凡例 < :パンタ ■ :車椅子スペース ● :電動車 ○ :付随客車